

東急高架下に駐輪場の増設を急いで



路上に溢れる
自転車



●大震災の影響で、工事着手が来年度以降に延期

昨年9月議会で、溝口駅周辺の駐輪場の利用率は午前9時台で110%になり、その後の通勤や買物客の駐輪場所が足りない実態を示し、整備が遅れている溝口、高津、二子新地各駅周辺の東急高架下への駐輪場の早期整備と夕方の調査実施を市に求めました。本年9月、とりくみを質しました。

▼建設緑政局長は、東急から平成23年度中の工事着手の予定と伺っていたが、今年5月に東急に確認したところ、東日本大震災の影響で、来年度以降に設置工事を延期する予定であると回答されたとのこと。

●当初計画どおりの台数の整備を確認

東急が住民とワークショップを行って計画した台数の整備と場所については当初の計画通り進めると東急は回答しています。

整備計画	溝口駅周辺	約920台(2か所) + α
	高津駅周辺	1,770台(高津駅をはさんで3か所)
	二子新地駅周辺	あと720台(多摩川寄り)

引き続き早期整備を求めていきます。

●午後4時台も調査実施、利用台数増える溝口駅

溝口駅周辺の6月時調査 (収容台数5,343台)

	2010年度	2011年度	
	午前9時台	午前9時台	午後4時台
利用台数	5,867台	6,005台	5,922台
放置台数	360台	344台	1,300台
合計	6,227台	6,349台	7,222台

溝口駅南口の駅前広場地下に約1900台の駐輪場整備計画

市は南口広場地下に約1900台の地下自走式駐輪場の整備を計画、今年度詳細設計、平成24年度工事着手、25年度末の完成を目指しています。自転車専用とするため、既存の駐輪場の一部を自転車から原動機付き自転車の利用に変更するとともに、広場用地内の駐輪場や歩道内の路上駐輪場は廃止する計画です。駅南

安心して子育て
保育園、幼稚園、医療費
でがしたい
中学校給食のとりくみ

れています。

厚労省は、保育園

景気後退の長期化による経済状況が厳しさを増すなか、子どもと家庭を取り巻く環境が悪化し、子育てが困難という状況が広がっています。

日本共産党川崎市議団が行ったアンケートには「仕事をしなければ生活できないが子どものあずけ先がなく、仕事をしていないと保育所の入所申請ができずどうしたらいいのか」「川崎は公立の幼稚園がなくなり、入園料も保育料も高すぎ子どもが小学生にあがったら医療費負担が3割に。やりくりが大変」等、安心して子どもを育てられない生活実態が多数寄せられました。こうした声に応える支援策が急が



坂戸踏切付近の側溝のガタつきが補修されました



補修工事が完了した側溝

口地区における収容台数は現状より自転車が約900台、原動機付き自転車が約600台増加する見込みです。

整理誘導員の配置の継続を

歩行者の安全な通行の確保のために、駐輪場への案内や放置自転車の整理整頓を担う「整理誘導員」は、国の緊急雇用創出事業等を活用し、今年度は、溝口駅12名、高津駅2名、二子新地駅3名配置されています。国の事業の継続が不透明ですが、配置の継続は不可欠です。

▲建設緑政局長は適正な配置に向け、関係局と調整していきたいと回答しました。

溝口駅への往来が激しい南部沿線道路、自転車が転倒して危ないので補修の要望があった坂戸踏切付近の側溝のこぼれが改修され、平らになりました。

の待機児童を解消するためとして、認可保育園の面積に関する基準緩和を特例的に認め、川崎市を含め35市区を対象地域として告示しました。現在でも狭い面積基準をさらに緩和すれば保育環境の悪化に直結します。現状でも定員の規制緩和でほとんどの認可保育園が定員超過です。この上さらに子どもを詰め込むことは子どもの発達上からも認められません。

認可保育園の増設、地域保育園への援助費の拡充、私立幼稚園の保育料補助の拡充、子どもの医療費無料化を中学卒業まで、中学校給食を川崎でも実現のために9月議会でも取り組みましたが、引き続きがんばります。

船のこない港に1000億円を使うことをやめれば、財源は確保できます。